

# 3月1日(土) 高校3年生182名が 遺愛を巣立っていきました!!



3月1日(土) 午前10時より12時まで、第77回遺愛女子高等学校卒業礼拝式（遺愛女学校から数えると第133回卒業式）が遺愛アリーナで行われ、182名の高校3年生が卒業証書を受け取り、遺愛を

巣立っていきました。今年の卒業生は、コロナのなか高校生活を送りました。中学～高校2年生までは対人関係においてコミュニケーションの機会が制限された学年でしたが、高校3年生ではずいぶん成長できた学年だったと思います。

高三の担任の先生に、皆さんの成長の様子を書いていただきました。

K3 Aクラス山田先生のコメントです。

すべての行事（特に遺愛祭・体育祭）に全力で取り組み、楽しんだクラスでした。その思い出の一つ一つには様々な人が関わり、それぞれの成長に役立っていたことを学んでくれました。場の空気を読み、行動できるなど社会に出ても恥ずかしくない生徒に成長してくれました。

K3 Bクラス柳谷先生のコメントです。

クラスは早い段階から仲が良く、合唱コンクール、体育祭、学校祭と、ほとんどもめることがなく、クラスが一丸となり、どんどん笑顔が増えていったクラスでした。三年生になるまではあまり感じられなかった他者への思いやり、まさに隣人愛が備わったことが成長したことだと思っています。みんな最高の笑顔になりました。

K3 Cクラス後藤先生のコメントです。

個性がぶつかり合うこともあったけれど、このクラスは少しずつ変わっていった。突っ張るだけでなく、折れることで前に進めることを知り、思い通りにならなくても、やった分だけ結果がついてくることを学んだ。そして、行事は全力で楽しみ、一致団結する喜びを知った。朝の「おはよう！」から始まる、うるさいくらいの明るいクラス。3年間で成長した皆の姿が、何よりの誇りである。

K 3 Hクラス川嶋先生のコメントです。

一番の成長は多くのトレーニングを重ね、どんな困難や試練をも乗り越えることのできる立派な心と体を得た事です。心も体も一回りも二回りも大きくなり、本当にうれしいです。今後は心は鷲の翼のように広く大きく、体は鋼のような体幹をモットーにさらに成長を続けて下さい。K 3 Hクラスは毎朝の体育館での礼拝で、(いつも一番早く入ってきたクラスで、礼拝では、一番長く、立ち続けていたクラスでした。鍛えられていました。)

K 3 Iクラス清水先生のコメントです。

私の作りたいクラスを具現化してくれた生徒たちだった。何をすべきか自分で考え、周りの人のために行動することができる集団で、担任など必要ないレベルのクラスだった。安易な道に逃げず、努力と挑戦を重ねたこの子たちを誇らしく思います。この3年間で本当に賢くなった、強くなったと感じています。

K 3 Jクラス福澤先生のコメントです。

努力することの尊さや、楽しさを学んだ1年だったと思います。受験勉強でも行事でも、高い目標を持ち、できる限りの準備をした上で挑戦することができました。相手に共感するだけではなく、時にはアドバイスし合い、みんなで上を目指す姿勢が素敵でした。

最後に改めて、学年主任の柳谷先生からの高3の皆さん全員にむけてのメッセージです。



「中学時よりコロナの影響を多く受けた生徒たち、生徒だけではなく教職員も日々の変化についてゆくのが大変な時期、その中でも一緒に多くのことを楽しめましたし、たくさんぶつかりもしました、それでも着実に一緒に歩んでまいりました、そして今日を迎えております、一人一人の成長に喜びを感じ、この困難な時期を乗り越えた皆さんは、私たちは自信をもって次のステップへ送り出すことができます。これからも大変なこともあるかもしれませんが、でも大丈夫、皆さんには遺愛で身につけた力があるから。」

長に喜びを感じ、この困難な時期を乗り越えた皆さんは、私たちは自信をもって次のステップへ送り出すことができます。これからも大変なこともあるかもしれませんが、でも大丈夫、皆さんには遺愛で身につけた力があるから。」

このように担任の先生方は高3の皆さんの成長を絶賛し、卒業後もさらに飛躍できると確信していました。高3生の成長は、間違いなく151年の遺愛の歴史をさらに輝かしいものにして下さり、心から感謝しています。

2025年3月3日(月)